

¥ J-ARISE 通信 vol.10 ⋅



令和2年度7月

令和 2 年度の幕開けは COVID-19 で始まる、今までに経験のない新年度となりました。その中で、皆様のご理解と ご協力のもと、新人看護職員の集合研修やラダー研修を開催できています。本当にありがとうございます。

新人看護職員の他部門・重症救急部門研修は9月から開始されます。引き続き、ご協力をお願いいたします。 そして、J-ARISE 通信は Vol.10 の発行を迎えることとなりました。今後も、皆様のニーズにお応えできるよう編集して いきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和元年度各ラダーの合格者数

ラダーⅡA 120名

ラダーⅡB 67名

ラダーⅢ 47名

ラダーⅣ 27名



ラター IIB 認定証







ラダー認定者総数	ラダー I	ラダーⅡA	ラダー II B	<mark>ラダーⅢ</mark>	ラダーⅣ
1081 人	112人	170 人	228 人	<mark>525 人</mark>	46 人

※ラダー認定者総数は、看護管理者を除き、スタッフ・パート職員から算出しています。(表は、令和2年6月の数値です)

自分のペースで自己研鑽に取り組みラダーⅢを取得する人は年々増加しています。当院の目標であるラダーⅢをめざしましょう

ラダー**Ⅳ認定者からのメッセージ** 令和元年度にラダーⅣ認定を受けた 2 名からのメッセージです。

推薦者看護師長

A さんは、JARISE 研修を計画的に 受講し、ラダーⅣ認定を取得できました。研修を通 しての気づきを大切にし、部署では患者に対して 安心感を与える看護をスタッフとともに実践してく

れています。とても頼りになる存在です。

推薦者看護師長

B さんは、部署において、患

者・家族に対しても細やかな配慮をしながら看護 にあたっており、頼りになる存在です。子育て中で すが、家庭と仕事のバランスをとりながら、積極 的に研修に取り組んでいました。

Bさん

Αさん

実践教育研修【3】では、中堅スタッフが根拠に 基づいて後輩指導が実践できるよう活動しました。 マネジメント研修【3】では、カンファレンスの運用方 法について検討し、スタッフが主体的に活動できる よう調整しました。看護展開研修【4】では、初産婦 と実母の関係性に焦点を当て看護研究に取り組み ました。研修を通して、視野が広がり、他の職種・部 署との連携も含めて考えることができるようになりま した。今後は、部署内の課題に対して部署全体が 前向きに取り組めるよう主体的に活動していきたい です。

私にとってラダー研修は、学習する機会です。研 修を受けることで、普段なかなか開かない教科書に 目を通し、必要な文献を検索し、看護についてじっく り考えることができます。また、看護研究に取り組ん だことは、自分の看護を振り返るきっかけになりまし た。子育てをしながらも挫折せず最後までやり遂げ たことは、大きな自信につながりました。

今後は、研修で学んだことを積極的に看護や後輩 指導に活かしていきたいです。

看護基礎技術研修【2】注射皿研修が6月3・4日に開催されました!

ラダー II A トライ者研修の注射 III 研修が修了しました。この研修は、「末梢静脈内留置針挿入」「血液培養検査」 の集合研修です。抹消静脈内留置針挿入を実践できる看護師を早期に育成すること、新人看護職員対象グルー プ面接で出された要望に沿うため、例年 12 月に開催している研修会を 5 か月間早めて開催しました。

部署での実地指導者の評価が、早期実践に繋がりますので、実施に向けた各部署のご支援をお願いいたします。

知識テスト合格 技術テスト合格

部署実地指導者評価





集合研修で修了

スタッフ同士で実施 技術チェック⇒合格





QR コードからアクセスして、キャリア相談ができるようになります!!

現在、キャリア相談は①相談用紙の投函による相談②JUMP メールによる相談③メール(career-shien@jichi.ac.jp)に よる相談④直接の来室など、窓口がいくつかあります。

この度、アクセスや入力がスムーズにできる窓口を追加し、看護職員の皆様にご活用いただけるように準備いたしました。 プライバシーの保護は遵守いたします。安心してご相談ください。

手順(1) QR コードをスマートフォンから 読み込む





手順②

表示された入力フォームに 必要事項を入力し送信する



手順③

看護職キャリア支援センターから返信がくる



🧲 JONNAVI プロファイル入力のすすめ

プロファイルの入力は、皆さんの実績のポートフォリオになります。

- ★「職歴」「社会活動」「学会発表」「学術論文」「著書」「教育活動」など、適宜入力しましょう。
- ★基本の項目にある「他施設での経験」は、既卒・中途採用の皆さんは忘れずに入力しましょう。 ※他施設での経験が換算されます。

入力に関する不明な点は、看護職キャリア支援センター形成支援部門長安西(6296)まで、ご連絡ください。

次回の J-ARISE 通信は令和2年11月頃を予定しています。 看護職キャリア支援センター発行

